UMWMS リリースノート 2305E

発行日	2023/05/31
最終改訂日	-

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

目次

目	次	1
约	(訂履歴	2
1.	. 概要	3
2.	. 詳細	4
	2.1. WMS新規在庫入力(単票形式) 実棚数の加算/上書き切替機能追加	4
	2.2. WMS出荷フロー 受注残クローズフラグによる動作変更	4
	2.3. 出荷確定 内示受注を含む場合の制御追加	4
	2.4. 不具合修正	4
3.	アップグレード手順	6
4.	UMWMS用設定	9
	4.1. UM共通用設定	9

改訂履歴

改訂日	Ver.	改訂内容
2023/05/31	1.75	発行

- ◆ 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

- WMS新規在庫入力(単票形式) 実棚数の加算/上書き切替機能追加
- WMS出荷フロー 受注残クローズフラグによる動作変更
- 出荷確定 内示受注を含む場合の制御追加
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [詳細]よりご確認ください。 アップグレード後の各変更による設定の追加等につきましては、[UMWMS用設定]よりご確認ください。

2. 詳細

2.1. WMS新規在庫入力(単票形式) 実棚数の加算/上書き切替機能追加

WMS新規在庫入力(単票形式)画面で、同じ在庫のキーを持つデータを更新するとき、 実棚数を入力された値で加算するか、上書きするかを選択出来る機能を実装いたしました。

※こちらの機能は以下の条件をともに満たす場合のみ使用可能となります。

- ・棚卸初期値区分が「ゼロ」の時
- ・同じ在庫のキーを持つデータが存在し、実棚数が0より大きい時



2.2. WMS出荷フロー 受注残クローズフラグによる動作変更

受注. 受注残クローズフラグをONにすることで、出荷フロー機能で以下のように動作を変更いたしました。

機能名	条件	変更内容
出荷予定	受注残クローズフラグがON	受注伝票から出荷予定を作成しない
棚出入力	出荷予定に紐づく受注伝票の	棚出を作成しない
デジタルピッキング	受注残クローズフラグがON 	検索結果を表示しない
出荷確定		検索結果を表示しない

2.3. 出荷確定 内示受注を含む場合の制御追加

出荷確定時に、出荷対象である受注. 受注区分が「内示受注」の場合、出荷を進めるかの確認画面が表示されるように、機能を追加いたしました。



2.4. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

● 入荷予定連携解除/出荷予定連携解除

絞り込み条件の「全て」を選択した際、解除可能な明細のチェックボックスも選択できない状態で表示されていましたが、選択できるよう修正いたしました。

● 入荷確定/出荷確定

確定対象の情報を検索する際、WMS対象外の倉庫も検索できていましたが、WMS対象倉庫のみが検索できるよう修正いたしました。

● 出荷確定

出荷確定後、受注明細に登録されている課税区分が出荷実績明細に引き継がれない不具合を修正いたしました。

WMS棚卸

モバイルから在庫反映ボタンを押したときに、PCの動作に合わせて確認画面を表示するように修正いたしました。



3. アップグレード手順

パッケージURL:

- (1)Schema
- 2Label
- (3)Utility
- 4 Domain
- (5) Service
 - ①~⑤のパッケージURLは「UM共通 リリースノート 2305E」に記載しています。
- 6)WMS ver.1.75

https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000002YffpAAC

<手順>

- 1) 本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。 上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。 (例) https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID
- 2) ①Schema~⑤Serviceのアップグレードを実施します。 「UM共通 リリースノート 2305E」を参考に、URLの実行を行ってください。 ※必ずパッケージURL⑥の前に行ってください。
- 3) ⑥WMSのアップグレードを実施します。 上記パッケージURL⑥にアクセスします。
- 4) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。



5) アップグレード実行画面が表示されます。 ※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名 を確認してください。

く実行手順>

a) 「管理者のみのインストール」をクリックします。

- b) 下図のように「同意」チェックボックスがある場合は、ONにします。
- c) 「アップグレード」ボタンをクリックします。



アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」 ボタンをクリックします。

下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。



6) 「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。 インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。 アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。 ※パッケージごとに、手順 3)~ 6)のアップグレード作業を繰り返し行ってください



4. UMWMS用設定

UMWMSの変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。 ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

4.1. UM共通用設定

UM共通リリースノートにも同様に設定の記載があります。 下記資料の設定内容を参考に、設定を行ってください。 「UM共通リリースノート 2305E」